

7-7 人と自然との触れ合いの活動の場

7-7-1 現況

(1) 既存資料調査

① 調査概要

本事業の実施によって、工事中の工事関連車両の運行、供用時の事業関連車両の運行に伴い、人と自然との触れ合いの活動の場へ間接的な影響を及ぼす可能性があることから、その影響を検討するため、人と自然との触れ合いの活動の場に関する調査を実施した。

既存資料調査の概要は、表 7-7-1 に示すとおりである。

表 7-7-1 人と自然との触れ合いの活動の場の既存資料調査の概要

項目	内容
調査項目	活動の場の所在
調査地域	事業計画地及び事業関連車両又は工事関連車両の走行ルート周辺
調査時期	最新の年度(令和6年7月閲覧)
調査方法	東大阪市ホームページの「東大阪市内の開設している都市計画公園・緑地一覧表」を収集整理

② 調査結果

調査結果は、「第4章地域の概況 4-3 自然環境 4-3-5 人と自然との触れ合いの活動の場」(p134 参照)に示したとおりである。また、水走公園の概要は、図 7-7-1 に示すとおりである。

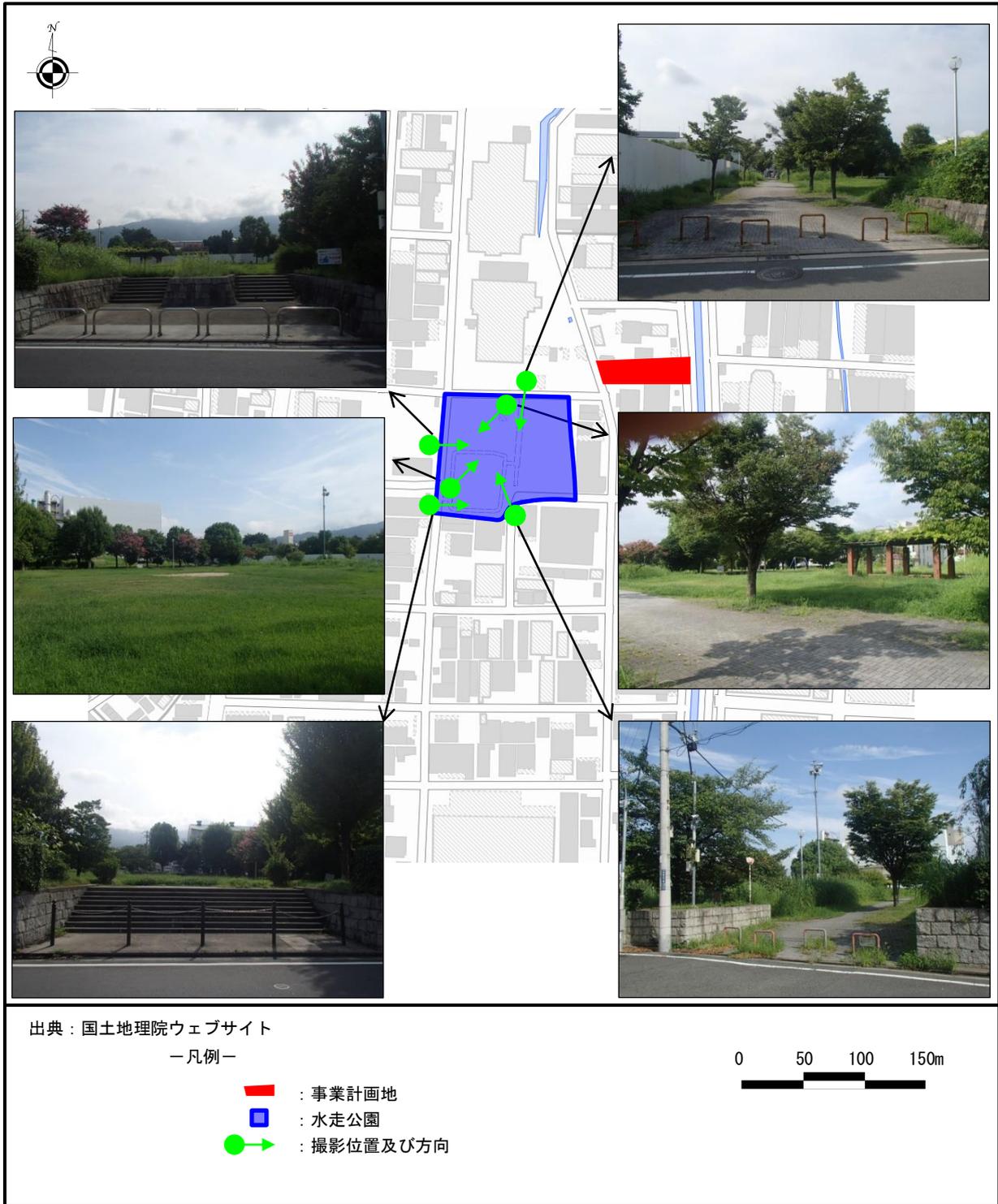


図 7-7-1 水走公園の概要

(2) 現地調査

① 調査概要

人と自然との触れ合いの活動の場の現地調査の概要は、表 7-7-2 に示すとおりである。

表 7-7-2 人と自然との触れ合いの活動の場現地調査の概要

項目	内容	
調査項目	活動の場の利用状況	交通量
調査地域	事業計画地及び運搬経路周辺の人と自然との触れ合いの活動の場のうち、供用時の事業関連車両の走行、工事中の工事用車両の走行により影響が生じる可能性がある水走公園及び公園出入口4ヶ所	運搬経路上の公園北側道路及び西側道路の2断面
調査時期	平日・休日各1日の2日間(秋季) 平日：令和3年11月24日(水)10:00～25日(木)10:00 休日：令和3年11月28日(日)0:00～29日(月)0:00	
調査方法	現地踏査を行い、活動の場の状況(利用人数・利用目的)を目視及び聞き取りにより調査	車種別・方向別交通量を目視観察により計測

② 調査結果

ア 水走公園の利用状況

事業計画地周辺の人と自然との触れ合いの活動の場である水走公園の利用状況の調査結果は、表 7-7-3 (1)～(2) に示すとおりである。なお、水走公園の出入口場所は、図 7-7-2 に示すとおりである。

表 7-7-3 (1) 水走公園の利用状況

調査 時間帯	平日		休日	
	利用者数	利用状況	利用者数	利用状況
0:00	0人		0人	
3:00	0人		0人	
6:00	0人		0人	
8:00	1人	休憩	1人	運動1人
10:00	1人	休憩	4人	休憩1人、散歩3人
12:00	7人	休憩1人、散歩6人	0人	
14:00	0人		1人	散歩1人
16:00	10人	運動10人	3人	休憩2人、運動1人
18:00	0人		0人	
21:00	0人		0人	

注) 各時間帯の利用者数及び利用状況については、その時間帯の毎正時における状況を示している。

表 7-7-3 (2) 水走公園の出入口利用状況

利用人数	平日		休日	
	10:00	16:00	10:00	16:00
北 出入口	1人	0人	1人	0人
北西 出入口	0人	0人	1人	0人
南西 出入口	0人	2人	0人	1人
南 出入口	0人	10人	3人	2人

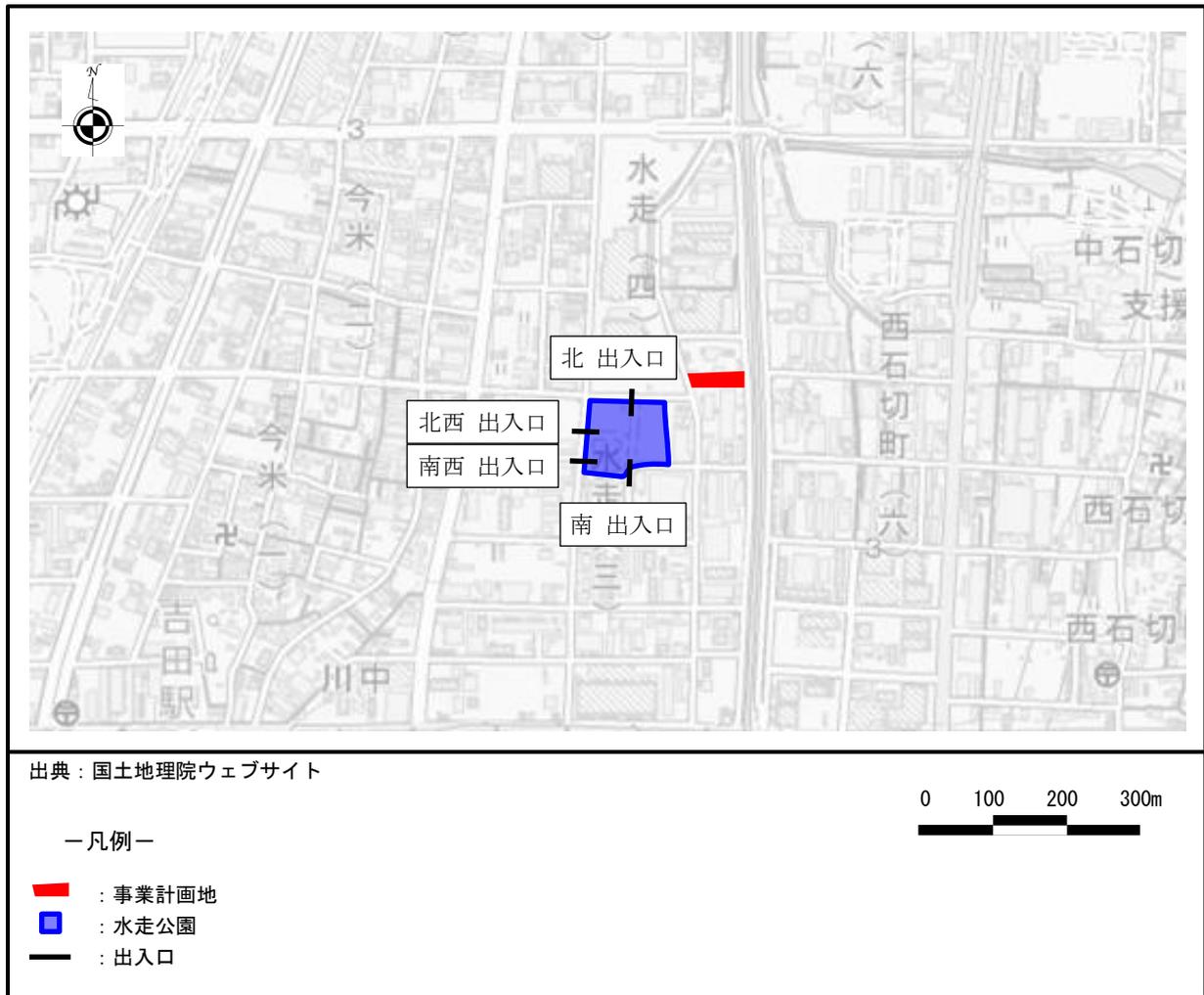


図 7-7-2 水走公園の出入口場所

イ 水走公園周囲における交通量

水走公園周囲における交通量は、表 7-7-4 に示すとおりである。

表 7-7-4 水走公園周囲における交通量

項目	公園北側(北 出入口)						公園西側(北西・南西 出入口)						
	平日			休日			平日			休日			
	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	
一般交通量	大型車	475	20	495	14	1	15	943	51	994	75	8	83
	小型車	522	30	552	135	20	155	1,929	99	2,028	983	87	1,070
	二輪車	113	11	124	33	10	43	372	23	395	184	32	216
	合計	1,110	61	1,171	182	31	213	3,244	173	3,417	1,242	127	1,369
増加比(合計)	1.2	2.0	1.3	2.5	2.9	2.5	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	

7-7-2 予測

(1) 事業関連車両の走行に伴う利用環境の変化

① 予測概要

事業関連車両の走行に伴う利用環境の予測概要は、表 7-7-5 に示すとおりである。

水走公園の利用環境の変化の要因としては、公園北側(北 出入口)及び西側道路(北西・南西 出入口)における事業関連車両の走行による交通量の増加が挙げられる。

表 7-7-5 事業関連車両の走行に伴う利用環境の予測概要

項目	内容
予測項目	事業関連車両の走行に伴う利用環境の変化
予測事項	活動の場の利用状況の変化の程度
予測方法	事業計画による交通量の変化を予測
予測地域	事業計画地周辺
予測時期	事業活動が定常状態となる時期

② 予測結果

水走公園周辺における一般交通量及び事業関連車両の交通量は、表 7-7-6 に示すとおりである。

公園北側交通量の増加比は、平日 1.3、休日 2.5 で大きく、公園西側交通量の増加比は、平日 1.0、休日 1.0 で小さい。公園北側交通量の増加比については、平日及び休日のいずれも夜間で大きくなっているが、表 7-7-3 (1) 水走公園の利用状況より、夜間の公園利用人数はほぼないと考えられる。

また、昼間においても表 7-7-3 (2) 水走公園の出入口利用状況より、ほぼ公園南側(南 出入口)の利用であったため、交通量の増加による公園利用者への影響はないと予測される。

表 7-7-6 水走公園周辺における一般交通量及び事業関連車両の交通量

(単位：台)

項目		公園北側(北 出入口)						公園西側(北西・南西 出入口)					
		平日			休日			平日			休日		
		昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計
一般交通量	大型車	475	20	495	14	1	15	943	51	994	75	8	83
	小型車	522	30	552	135	20	155	1,929	99	2,028	983	87	1,070
	二輪車	113	11	124	33	10	43	372	23	395	184	32	216
	合計	1,110	61	1,171	182	31	213	3,244	173	3,417	1,242	127	1,369
事業関連車両	大型車	188	58	246	188	58	246	6	0	6	6	0	6
	小型車	78	0	78	78	0	78	60	0	60	60	0	60
	二輪車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	266	58	324	266	58	324	66	0	66	66	0	66
将来交通量	大型車	663	78	741	202	59	261	949	51	1,000	81	8	89
	小型車	600	30	630	213	20	233	1,989	99	2,088	1,043	87	1,130
	二輪車	113	11	124	33	10	43	372	23	395	184	32	216
	合計	1,376	119	1,495	448	89	537	3,310	173	3,483	1,308	127	1,435
増加比(合計)		1.2	2.0	1.3	2.5	2.9	2.5	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0

(2) 工事関連車両の走行に伴う利用状況の変化

① 予測概要

工事関連車両の走行に伴う利用環境の予測概要は、表 7-7-7 に示すとおりである。

水走公園の利用環境の変化の要因としては、公園北側(北 出入口)及び西側道路(北西・南西 出入口)における工事関連車両の走行による交通量の増加が挙げられる。

表 7-7-7 工事関連車両の走行に伴う利用環境の予測概要

項目	内容
予測項目	工事関連車両の走行に伴う利用環境の変化
予測事項	活動の場の利用状況の変化の程度
予測方法	事業計画による交通量の変化を予測
予測地域	事業計画地周辺
予測時期	工事関連車両の走行による影響が最大となる時期

② 予測結果

水走公園周辺における一般交通量及び工事関連車両の交通量は、表 7-7-8 に示すとおりである。

予測結果より、公園北側交通量の増加比は、平日 1.0、休日 1.1 であり、公園西側交通量は、平日 1.0、休日 1.0 であり、どちらも小さいと予測された。公園北側交通量の増加比については、表 7-7-3 (1) 水走公園の利用状況より、夜間の公園利用人数はほぼないと考えられる。また、昼間においても表 7-7-3 (2) 水走公園の出入口利用状況より、ほぼ公園南側(南出入口)の利用であったため、交通量の増加による公園利用者への影響はないと予測される。

表 7-7-8 水走公園周辺における一般交通量及び工事関連車両の交通量

(単位：台)

項目	公園北側(北 出入口)						公園西側(北西・南西 出入口)						
	平日			休日			平日			休日			
	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	昼間	夜間	計	
一般交通量	大型車	475	20	495	14	1	15	943	51	994	75	8	83
	小型車	522	30	552	135	20	155	1,929	99	2,028	983	87	1,070
	二輪車	113	11	124	33	10	43	372	23	395	184	32	216
	合計	1,110	61	1,171	182	31	213	3,244	173	3,417	1,242	127	1,369
工事関連車両	大型車	22	0	22	22	0	22	22	0	22	22	0	22
	小型車	6	0	6	6	0	6	6	0	6	6	0	6
	二輪車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	28	0	28	28	0	28	28	0	28	28	0	28
将来交通量	大型車	497	20	517	36	1	37	965	51	1,016	97	8	105
	小型車	528	30	558	141	20	161	1,935	99	2,034	989	87	1,076
	二輪車	113	11	124	33	10	43	372	23	395	184	32	216
	合計	1,138	61	1,199	210	31	241	3,272	173	3,445	1,270	127	1,397
増加比(合計)	1.0	1.0	1.0	1.2	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

7-7-3 評価

(1) 評価方法

人と自然との触れ合いの活動の場の評価は、表 7-7-9 に示す評価の指針に照らして行った。

表 7-7-9 評価の指針(人と自然との触れ合いの活動の場)

項目	評価の指針
人と自然との触れ合いの活動の場	①人と自然との触れ合いの活動の場の保全と整備について十分な配慮がなされていること。 ②環境基本計画、大阪府新環境総合計画等に定める目標の達成と維持に支障を及ぼさないこと。

(2) 評価結果

①事業関連車両の走行に伴う利用環境の変化

事業関連車両の走行に伴う利用環境の変化は、交通量の増加による公園利用者への影響はないと予測された。

また、事業関連車両の走行における大気質、騒音、振動の影響を低減させるための環境保全対策として、以下に示す対策を講じる計画であることから、環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮していると評価する。

[環境保全対策]

- ・事業関連車両は、整備・点検を適正に行うとともに、制限速度の遵守及びアイドリングストップ、適正走行の周知徹底を図り、道路沿道等における大気環境への影響の低減に努める。
- ・騒音及び振動に及ぼす影響を軽減するため、事業関連車両は、可能な限り幹線道路を使用し、生活道路は通行しない。
また、廃棄物持込業者に対して、予め設定した走行ルートを通行するよう指示し、交通規則の遵守、不必要なアイドリングの禁止等、運転者に適正走行の周知徹底を図る。
- ・事業関連車両の走行が、特定の日や時間帯に集中することがないように運行管理を行う。
また、周辺道路で入場待機がないように管理を徹底する。
- ・事業計画地内の導線管理を十分に行い、交通渋滞・事故防止に努める。

以上のことから、評価の指針を満足すると考える。

②工事関連車両の走行に伴う利用環境の変化

工事関連車両の走行に伴う利用環境の変化は、交通量の増加による公園利用者への影響はない予測された。

また、工事関連車両の走行における大気質、騒音、振動の影響を低減させるための環境保全対策として、以下に示す対策を講じる計画であることから、環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮していると評価する。

[環境保全対策]

- ・事業計画地内には適宜散水を行い、土砂の巻き上げや粉じんの飛散防止に努めるとともに事業計画地外に出る車両は、出口においてタイヤを洗浄した後に退場する。
- ・工事関連車両の運行及び建設機械の稼働は、短期に集中することのないよう適切な工事計画を立てるとともに、工事関連車両及び建設機械は十分な点検・整備を行う。
- ・工事関連車両は、可能な限り幹線道路を使用し、生活道路は通行しない。
また、運行効率の向上、過積載の禁止、走行速度の徹底等工事関係者に指導する。
- ・工事関連車両の駐停車時はアイドリングストップの徹底を指導する。
- ・交通法規の遵守は基より、事業計画地の出入り口へ交通誘導員を配置することにより、円滑な交通と通行者の安全の確保に努める。

以上のことから、評価の指針を満足すると考える。